

登録コード	A3594379	開講年度	2026					
授業科目	専攻研究					担当教員	福山 泰治郎	
英文授業名	Thesis Research							
単位数	2	講義期間	後期（随時）	曜日・時限	集中・不定期		対象学生	3年生（研究室配属後の学生対象）
講義室				授業形態	演習	遠隔授業科目	備考	
信大コンピテンシー	該当							
(1)授業の達成目標	授業で得られる「学位授与の方針」要素					【授業の達成目標】		
	2 0 2 2 Aカリ, 2 0 2 1 Aカリ, 2 0 2 0 Aカリ, 2 0 1 9 Aカリ							
	【2022年度以前加付対象】専門的な知識や研究能力を修得している					修得した専門知識に基づいて、得られた研究成果を論理的に理解できる		
	【2022年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って問題をとらえ解決する能力を修得している					研究テーマを十分に理解し、主体的に研究に取り組める		
	2 0 2 6 A3 編（24A）, 2 0 2 5 A3 編（23A）, 2 0 2 4 Aカリ, 2 0 2 3 Aカリ							
	【2024年度以前加付対象】専門的知識や研究能力を基礎としての確かな情報を収集・理解し、発信できる能力を修得している。					修得した専門知識に基づいて、得られた研究成果を論理的に理解できる		
	【2024年度以前加付対象】地球的な広い国際的視野と同時に現実的な地域の視点に立って様々な課題をとらえ、解決する能力を修得している。					研究テーマを十分に理解し、主体的に研究に取り組める		
(2)授業で学べる「テーマ」	環境共生、防災減災							
(3)全学横断特別教育プログラム								
(4)授業の概要	研究テーマを設定し、その背景や課題、関連する既往の研究について調べ、理解する。 さらに、必要なデータを得るための調査方法、観測方法、データ収集、分析、解析方法を理解し、習得する。その上で、得られたデータを報告し、議論するための資料を作成し、プレゼンテーションを行い、議論を深める。							
(5)授業計画	担当教員が携わる研究テーマは以下のとおりですが、これらにとらわれず、自らも研究テーマを考え、積極的かつ主体的に研究を遂行するように心がけてください。 1) 降雨・融雪・地震・凍結融解に起因した土砂生産現象の解明とその予知予測 2) 流木の発生源や規模の評価と予測 3) 森林の有する崩壊防止機能の定量的評価 4) 雪崩による森林かく乱と流木発生の危険度予測 5) 土地利用の変化が土砂生産や土砂流出に及ぼす影響の評価 6) シカの高密度化が下層植生や土壌侵食に及ぼす影響の評価 7) 間伐材を利用した治山施設（棚）の整備による地域防災力の向上 学期の最後に授業アンケートを実施します。							
(6)自主学習の指針	既往研究や文献のレビューを通して、研究課題の背景や目的、研究の位置づけや意義をよく考え、理解することが重要です。また、調査方法、観測方法、データ収集、分析、解析方法についても十分に理解することが求められます。							
(7)成績評価の基準	明確な問題意識を持って積極的かつ真摯に取り組む姿勢を評価します。							
(8)事前事後学習の内容	既往研究や関連資料をよく読み、研究課題の背景や目的、研究の位置づけや意義を十分に理解すること。							
(9)テストやレポートの予定	テスト・レポートは課しません。							
(10)成績評価の方法	真摯に研究に取り組む姿勢を重視します。 併せて、日々のディスカッション、調査や観測、データのとりまとめと解釈、考察、資料作成、プレゼンテーションを総合的に評価します。							
(11)質問、相談への対応および連絡先	質問や相談は随時受け付けます。							
(12)履修上の注意	専攻演習を履修していることが必要です。							
【教科書】	使用しません。							
【参考書】	使用しません。							